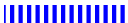
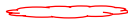


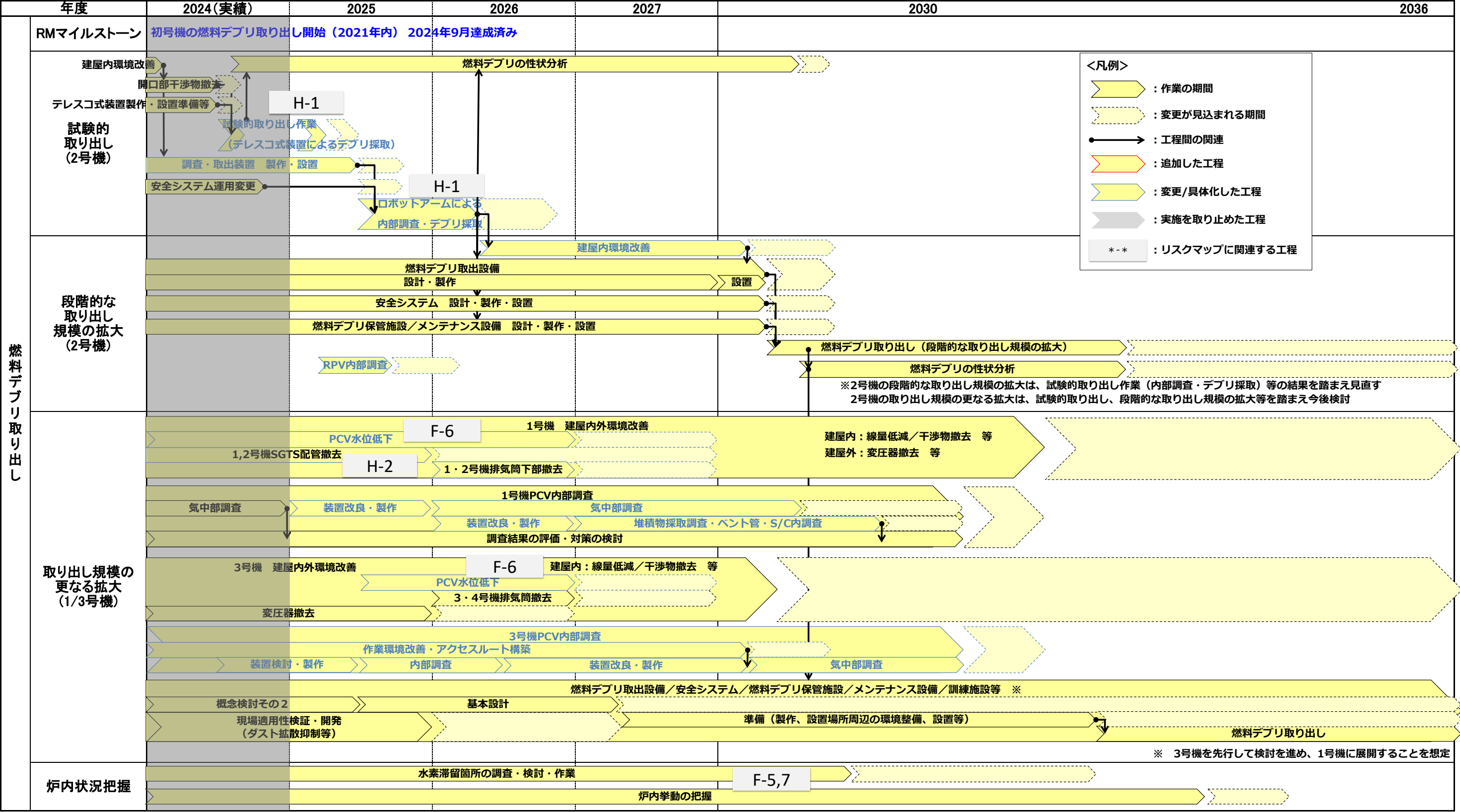
1 / 3

燃料デブリ取り出し準備 スケジュール

分野名	廃炉中長期実行プラン2025 目標工程	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	4月		5月					6月			7月			8月			9月			10月			11月以降	備 考	
					27	28	29	30	1	4	11	18	25	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上			中
			3号	(実 績) (予 定)	現 場 作 業																								
				圧力容器 /格納容器の 健全性維持		(実 績) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施（継続）	検 討 ・ 設 計																						
						(予 定) ○腐食抑制対策 ・窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減実施（継続）		現 場 作 業	腐食抑制対策（窒素ハブリングによる原子炉冷却水中の溶存酸素低減）																				(継続実施)
		P V / P C V 健 全 性 維	炉心状況把握	(実 績) ○事故関連factデータベースの更新（継続） ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新（継続）	検 討 ・ 設 計	事故関連factデータベースの更新																				(継続実施)			
				(予 定) ○事故関連factデータベースの更新（継続） ○炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新（継続）		炉内・格納容器内の状態に関する推定の更新																				(継続実施)			
				炉心状況把握		(実 績) ○2号機燃料取扱機操作室調査の実施 ○2号機原子炉建屋内調査（地下階三角コーナの状況確認） ○3号機原子炉建屋内調査の実施	現 場 作 業																						
(予 定)																													
燃料デブリ取り出し準備	●燃料デブリの処理・ 処分方法の決定に向けた 取り組み	取出後の 処理料・デ ブリ分り 安定保管	燃料デブリ 性状把握	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等（継続）	検 討 ・ 設 計	【研究開発】燃料デブリの性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等																				(継続実施)	事業名称：燃料デブリの性状把握のための分析・推定技術の開発 期間：2025年度～2026年度		
				(予 定) ○【研究開発】燃料デブリ性状把握のための分析・推定技術の開発 ・燃料デブリ性状の分析に必要な技術開発等（継続）																									
				現 場 作 業																									
		燃料デブリ 収納・移送・保管 技術の開発	(実 績) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応（継続） 燃料デブリ乾燥技術/システムの開発（完了） (予 定) ○【研究開発】燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応（継続）	検 討 ・ 設 計	【研究開発】粉状、スラリー・スラッジ状の燃料デブリ対応 （粉状及びスラリー・スラッジの分析等）																				(継続実施)	事業名称：燃料デブリ収納・移送・保管技術の開発 期間：2025年度～2026年度			
					現 場 作 業																								

凡 例

- ： 検討業務・設計業務・準備作業
- ： 現場作業予定
- ： 機器の運転継続のみで、現場作業（工事）がない場合
- ： 記載以降も作業や検討が継続する場合は、端を矢印で記載
- ： 工程調整中のもの



<凡例>

- 作業の期間
- 変更が見込まれる期間
- 工程間の関連
- 追加した工程
- 変更/具体化した工程
- 実施を取り止めた工程
- *-* : リスクマップに関連する工程

注：今後の検討に応じて、記載内容には変更があり得る